

# 進路通信

太田市立太田高等学校進路指導部

第4号 令和元年9月3日

9月16日(月)より就職試験が開始されます。企業の方がお話ししてくださる高校生に求める資質・能力について紹介します。1・2年生も今後役に立つ情報になっているので、必ず読んでください!!

## どの企業にも共通していること

- ・ 元気で明るく、素直な人
- ・ コミュニケーション能力があり、積極的な人
  - 新人なので、分からないことやミスもあります。そうした場面で適切な対応(質問、謝罪や善後策)ができる子が必要。(製造業)
  - 自分が望んでいない分野の研修もしっかり取り組んでくれる生徒さんですね。会社はチームプレーですから、他の人の仕事をカバーする場面もありますので。(製造業)
  - 礼儀正しくお客様と接することができる生徒を望みます。(サービス業)
- ・ 欠席が少ない、休まない(企業によっては、3年間で5日以内など具体的な数字をあげるところもあります)



さらに…  
+ α こな力



- ・ 部活動を3年間続けてきた人(運動部の人がほしいといわれることもあります)
  - 仕事においても目標に向けて組織全体で取り組むことは、部活動と共通です。チームに貢献できる人材が求められます。
- ・ 体力のある人(製造業の場合、重いものを持つこともあるため)
- ・ 将来は、現場の中心になって働いてほしいので、リーダーシップをとれる人。周りを引っ張っていける人

紹介したことがすべてではなく、企業によって、または職種によっても求められる能力は違います。ただ、各種企業の方が、基礎学力が重要なことと、「人物重視」「面接重視」とおっしゃいます。日頃から言葉遣いや話し方など、意識して学校生活に取り組むようにしておけば、面接が近くなってからでも対応できると思います。SPIテストなども行われるため学力もある程度の水準が求められます。1・2年生のみなさんは「まだ、先のこと」と考えず、1年後、2年後の進路選択に向けて、日々の生活の中で、様々な力を身につけるようにしましょう。

## ◆採用試験◆

会社および職種によって、求める人材をどういう観点で選ぶかで、試験の種類・内容が異なります。一般的には、書類選考、筆記試験、作文、適性検査、身体検査、面接試験をいくつか組み合わせて実施されます。「情報」は「力」です。どのようなことが出題されるのかよくインターネットや進路室などで確認しておきましょう。それでもよくわからないことがあれば、3年生だけに限らず1、2年生を今のうちから調べておきましょう。

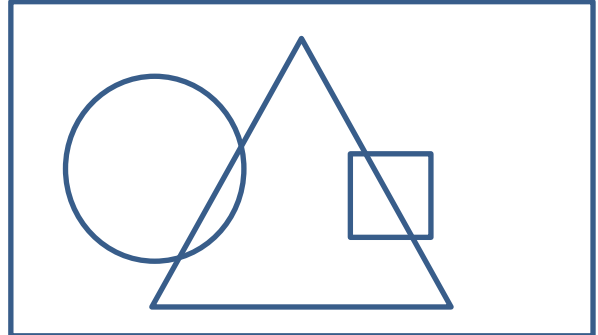


## ◆面接◆

先ほど「人物重視」「面接重視」とありましたが、話したいことをみなさんはその場で相手に伝えることができますか？それを確認するためにやってみてほしいことがあります。

### ルール

2人組で行う面接トレーニングです。右の図形を1分間で相手に言葉で説明し、全く同じものを描いてもらうことです。ただし相手の図形を見てはいけません。全く同じものを相手に書いてもらうことができるでしょうか。やってみましょう。



この問題は実際に宇宙飛行士の試験に出題されたものですが、プレゼンテーション能力、国語力、英作文、数学の証明問題、小論文などに役に立つとして取り上げられています。説明をするにあたり、全体的なことを説明してから具体的な表現で相手にわかるように、順番に説明することで、伝わるようにすることを目的としています。

### ○説明の仕方の一例

詳細から言われると全体がわかりづらいが、全体を説明してから詳細を言うとわかりやすく、伝わります。伝える側は全体像を分かっているが聞く側は全くわかっていない状態であるため、説明されても理解できない場合があります。このことを忘れてしまうと伝わらないことが多いので注意してください。

### ○細かく具体的に

詳細を説明するときは具体的に伝えることが重要です。抽象的な感覚(「かなり」「ちょっと」「大きい」などの形容詞、感覚的な表現)による説明だと人によってその感覚がそれぞれ異なるため、正確に、あるいは同じように伝わらないので、相手に分かるように具体的な基準で話をする心を掛けましょう。

### ○ナンバリング

伝えたいこと、伝える内容に優先順位を付け、その順番に沿って伝えるとより伝わります。最初に伝えたいことの数(全体像)を言ったり身振り手振り(手でその数を示すといった動作)を加えたりすると、より伝わりやすくなります。

## ◆面接時間は限られている◆

面接時間は無限にあるわけではありません。「1分間で自己PRをしてください」などの時間が決まっている中で、自分が何を伝えたいのか、時間内にどのような順序で話をすればいいのか、上の練習を続けることで自然と身についていくはず。検定や部活動で結果を出しているにも関わらず、言葉にできなければ結果が無いのと同じことになります。面接だけでなく、小論文や国語力にも結びついてくる練習内容ですので、実際にやってみてはどうですか？努力してみましょう。